



ロータリー:
変化をもたらす

Rotary



CHINO



ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

2017~2018年度国際ロータリーテーマ

茅野ロータリークラブ

創立1981. 1. 26

茅野ロータリークラブ活動指針

「ロータリーの奉仕の進化と深化を楽しもう」

2017 - 2018 会長 高見 恭司 幹事 勅使川原 一幸

Vol.31 1737 2018.4.4

高見会長挨拶

皆さんこんにちは
今日の例会の唱歌、『春の小川』は、作詞:高野辰之、作曲:岡野貞一のコンビによる日本の童謡の唱歌です。1912年発表。作詞家の高野辰之さんが当時住んでいた東京都渋谷区代々木の周辺を流れる河骨川(こうほねかわ)、と宇田川の情景を歌ったものと言われています。



現在、河骨川、宇田川のほとんどは、コンクリート製品によりフタが閉まった状態で、井の頭通りの道路の下を流れ、渋谷駅東口の北側で渋谷川と合流します。

この渋谷川は、デパートで地下がなくて有名な渋谷の東急百貨店と「春の小川」の意外な関係がありました。東急百貨店の東館には、何故か百貨店にツキモノのいわゆる「デバ地下」がありません。これは、先ほどの河骨川、宇田川が合流した渋谷川が地下に流れているためです。地上に百貨店がある川は、日本広しと、言えども、渋谷川だけです。

また、同じく渋谷の西武百貨店のA館とB館の間には、複数の連絡橋がありますが、地下の連絡通路がありません。これは、A館とB館を隔てる井の頭通りの下に、コンクリート製品によりフタが閉まった状態の渋谷川の合流前の宇田川が流れているからです。

コンクリートに囲まれて下水道化した宇田川は、もはや自然の「川」の面影はどこにもありません。さらさらと流れていた「春の小川」の流れは、皮肉にもその上を慌しく行き交う、都会の人々の流れに変わってしまいました。

以上で会長挨拶と致します。ご清聴ありがとうございました。

※別紙幹事報告書

伊勢原RC 井戸川秀治会長のご挨拶



株式会社三井の森代表取締役社長 上田 隆康様のご挨拶



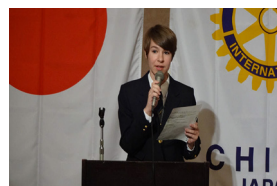
米山奨学生 爽さんへ4月分奨学金贈呈



爽ちゃん挨拶



長期交換留学生 茜ちゃんへ4月分お小遣い贈呈



茜ちゃん挨拶

ホストファミリー 矢崎勇人会員へ4月分補助金贈呈



ニコニコBOX

人数
32人
金額
70,000円

- ◎高見恭司会長 伊勢原RCの皆さん、王さん、茜さん、ようこそお越しくださいました。会員卓話の皆さんよろしくお願ひします。
- ◎伊勢原RC 井戸川秀治会長、飯田隆三会員、多田政弘会員 お世話になります。
- ◎矢崎和幸会員 結婚記念日のお花ありがとうございます。結婚生活63年になります。皆さんのおかげで88歳になりました。
- ◎渡辺昌彦会員 誕生日、結婚記念ありがとうございます。
- ◎堀江藤夫会員 14日で62歳になります。100歳まであと32年。生涯現役頑張るぞ!!
- ◎小尾幸太郎会員 4月で62歳になります。
- ◎牛山武明会員 昨日79歳の誕生日でした。
- ◎北原重信会員 三井の森の上田さん、ようこそ。

出席報告

会員数 55名
出席 46名
出席率 84%

卓話

矢崎和幸会員



茅野RCは昭和55年に創立、昭和56年に承認発足しました。日本のRCは戦前に発足しましたが、戦時中は中断しました。一番早く発足したのが東京RCです。諏訪地方では、一番早く発足したのが諏訪RCで、諏訪RCが親になって岡谷RCを作って、富士見RCを作って、富士見RCから茅野RCが作られ、岡谷RCが諏訪湖RCと岡谷エコーRCを生み出したという歴史です。

茅野RCは1981年3月5日に承認されました。それから1987年に当時の東海大学附属第三高等学校にインターアクトクラブを発足、その実行委員長は真道会員でした。その先生になったのがあつみ野RCでした。

私が会長を務めたのが1990年で発足10年目でした。諏訪大社RCが1993年にできました。また、1994年に分区代理を務めました。2001年に牛山会員がガバナー補佐に、そして2008年に松木会員、2014年に真道会員が務めました。

諏訪RCにローターアクトクラブというものが1981年に結成されました。私がガバナー補佐のときに協力して息子をそのクラブに入会させました。

私が分区代理をやったときのガバナーの話に「ロータークラブのバッジは非常に価値のあるものだ」というのがありました。東京RCでメイキャップするときにはバッジをつけて行きますが、バッジをつけているときとつけていないときのホテルの応対がまったく違いました。そのくらいRCバッジは価値があります。価値があるということはそれだけ人格を持った方々がバッジをつけているということになります。バッジをつけた限りは立派に振る舞いなさいとそのガバナーは話してくれました。

皆さんもRCバッジをつけて、胸を張って今後の仕事や生活に励んでみたらいかがでしょうか。

卓話

牛山武明会員



私は、戦中の生まれでございまして、終戦後昭和21年に玉川小学校に入学しました。その当時は、戦後一番厳しい時代だったので、モノはない、食べるものもない、それからお金もない、という厳しい環境でした。冬は裸足か藁ぞおり、腰掛には布団がないので防空頭巾を敷いて寒さをしのいだという状況のなかで学校生活をおくりました。それから中学・高校となるわけですが、なかなか自分の思うようにはできません、高校を卒業したら就職するという条件で諏訪実業高校に入学することができました。卒業して上野会計事務所に就職しました。そこで17年間お世話になりまして、その時に税理士資格を取得し、さらに諏訪地域の企業やその経営者の状況を詳細に勉強させて頂きました。それが私の人生の中で非常に大きな力になりました。そのとき一番心にしたのは「身の丈経営」ということを自分に植え付けました。ということで今も皆さんが私のことを「ウシヤマタケアキ」と言わずに「ミノタケカツアキ」といっていますが、そんなことで現在までやってきました。

17年間の勤務後に昭和50年1月に独立しました。その時に親の希望で生まれ故郷で仕事をしなさいということで諏訪でなく茅野に事務所を構えたということです。昨年暮れで43年経ちまして、私の仕事を息子に引き継ぎました。

そんなときにある方に「お金が貯まらないが何か方法がありますか」と尋ねたところ「お金は貯めなくてもいいから筋肉を貯めなさい」「筋肉は老後に役に立つから」と言われまして、それから筋肉を貯めることにしました。「どうすれば筋肉が貯まりますか」と聞くと「まず一に歩くこと。二に赤ワインを飲む。三番目に肉を食べる。」と。この三つを少しずつやれば筋肉が貯まるというので、それまではビールを飲んでいましたが赤ワインにしました。そうしたらその効果が表れまして、蓼科のエクシブのハカリに乗って見たところ筋肉質だということでした。従って筋肉が少し貯まったのかなと思いました。それからそのハカリには「体内年齢」というのがありまして「53歳」とでました。大変びっくりしてある方に「53歳」と話したら「それは危険だな」と言われました。ということで「お金は貯まらなくても筋肉を貯める」ということが大事だと実感をしました。老後のために筋肉を貯めて寝たきりにならないようにしたいというのが私の今の気持ちです。

卓話

真道弘雄会員



私が茅野RCに入会したのは1986年(昭和61年)2月17日でした。その時4人入会をしました。五味光亮さん、松木さん、故丸山先生でした。例会会場はホテルちの。丁度創立5周年目で、会長が故平岡先生、幹事が土橋先生。名士の方々のメンバーのなかで本当に自分ができるか心配しましたが、皆さん方が温かく振る舞って頂いて今日に至っています。早いもので、入会して32年目になります。その当時の「クラブ計画書」を探したらありましたので披露いたします。当時はB5の冊子でした。その中には高見会長のお父さんや桑澤さんのお父さんがロータリアンとして活躍されていて、いろいろ教えて頂きました。

クラブ計画書がB5からA4になったのは五味光亮さんが幹事の時でした。

例会会場は、五味一章さんが幹事のころまでホテルちので、その後は岡島ローヤル会館になりました。その後今のマリオローヤル会館になりました。

ガバナー補佐の時にクラブ計画書をみたら地区リーダーシッププランというのが載っていました。掲載されていた地区リーダーシッププランを紹介させていただきます。

(内容はクラブ計画書を参照で省略)

ガバナー補佐の際は皆さんのご協力でなんとか務めることができました。本当にありがとうございました。